

定例記者会見（平成22年4月期）報告事項

1. むつ下北元気なまちづくりサイト推進協議会の設立について

昨年12月の記者会見において、「むつ下北ユビキタス コミュニティ ネットワーク構築事業」の推進を図っていくとお伝えしておりましたが、先般3月25日に、この事業を「NEXT50 デジタル新時代へ向けた新たな挑戦」として具現化した「むつ下北元気なまちづくりサイト推進協議会」を設立しました。

【資料3】協議会規約

総合的なむつ下北地域におけるポータルサイトとして、地域の情報発信の一元化を図り、地産地消の推進等、地域コミュニティの新たなしくみの構築を目的に、設立に当たっては、「地域住民の方々の意向を反映する」とともに、「事業の継続的な運営」が担保されるよう、産学官による検討の場としての協議会としたものです。

【資料4】会員名簿

具体的には、青森公立大学の香取薫教授を会長に、学識経験者、むつ下北の経済団体、企業、生産者団体、市職員等が会員となり、3つの部会においてサイト内容を検討した上で、協議会で決定していきます。

部会は、「基本システム部会」、「産業物産観光部会」、「ふるさとコミュニティ部会」で構成し、

基本システム部会は、システム全体の構成や企画など、全般的な構築や運営について検討し、

産業物産観光部会は、サイト内の地産地消システムの構築・運営に係る計画や、運営についての検討を、

そして、**ふるさとコミュニティ部会**は、サイト内の思い出ミュージアムの構築から運営に係る計画や、地域情報収集、収集方法について検討していきます。

サイト内容は、基本システムとしてのCMS（コンテンツ マネージメントシステム）をベースに、一次製品の売買を仲介する「地産地消システム」、歴史的な画像や音声を配信するインターネット上の博物館「思い出ミュージアム」などを設置する予定です。

今後のスケジュールですが、6月末までにシステムを構築、9月を目途にサイトをオープンします。

なお、次回の協議会は、4月下旬の開催を予定しています。

2. むつ市役所本庁舎「通路愛称」の決定について

昨年9月末の本庁舎移転から半年を経過しましたが、新年度には組織改革による部署名が代わりました。

本庁舎に来庁された市民の皆様が、分かりやすく、速やかに目的の窓口に行けるように、通路に愛称を付けることとして、3月30日に むつ市役所本庁舎「通路愛称」応募作品選考委員会 を開催して決定しました。

(通路名の公募)

2月25日発行の市政だより、市公式ホームページを通じて市民の皆様にお知らせし、3月15日の締切までに、郵送や電子メール等で27件の応募がありました。

(選考委員)

選考委員は、市民代表者4名と、私を含めた市関係者3名で構成しました。

市民代表4名：庁舎案内ボランティア1名、祭り関係者1名 ミスおしまこ1名、むつ市行政連絡員1名 市関係者3名：市長、総務部長、職員代表1名

(選考の経過)

6本の通路の愛称について、選考委員から、まず、「覚えやすい、迷わない」愛称名を基本的な選考基準としたいと言うことで意見が一致しました。

また、通路の縦ラインは、市民の方が用事を足しに来庁した祭、庁舎内の部署の配置場所がイメージでき、覚えられる短い愛称とすること、更に、通路の横ラインは、すでに中央玄関前の横の通路が「グリーンモール」と命名されていることから、「カタカナ」の「モール」名で統一することとしました。

(決定した通路の愛称)

【資料5】 通路番号・愛称

選考の結果、満場一致で次のとおり決定しました。

通路の縦ライン、通路①から通路④ですが、まず、通路③から決めました。

通路③は、正面玄関を入れてすぐに、庁舎の中央を奥に伸びていることから、「中央通り」に決まりました。

次に、順次通路①は、行政委員会が多く配置されていることから、「委員会通り」に。

通路②は、教育委員会が配置されていることから、「教育通り」に。

通路④は、福祉関連部署が配置されていることから、「福祉通り」に決定しました。

次に、通路の横ラインですが、通路⑤は、縦横の通路がクロスしていることから、「クロスモール」に。

通路⑥は、売店や職員の休憩室等が配置されていることから、「リフレッシュモール」に決定しました。

縦の通路愛称

通路①：委員会通り

通路②：教育通り

通路③：中央通り

通路④：福祉通り

横の通路愛称

通路⑤：クロスモール

通路⑥：リフレッシュモール

(採用された応募者)

採用された愛称の作品をご応募いただいた方には、通路名の文字形状や掲示方法が決まり次第、感謝状を贈呈いたします。

(公表)

市政だより、ホームページ等で公表後、市民の皆様には「本庁舎がより使い勝手がよくなった」と言っていただけよう、PRに努めて参ります。

3. むつ市観光案内所の開所について

【資料6】案内所施設概要

昨年12月の記者会見において、「下北駅前広場整備事業」についてお伝えしましたが、昨日4月1日に「むつ市観光案内所」をオープンしました。

(目的)

この観光案内所は、平成21年大湊線下北駅舎の完成に伴い整備したもので、むつ市のみならず下北地域の観光を総合的に案内する目的で設置しました。

(機能)

待合い機能を持たせ、スペース的には狭いものの、情報検索や発信が機能的に利用できるようにし、要望があった無料のロッカーを備えました。

また、制作中ですが「駅からマップ」の配布を行い、観光客を駅から市内へ誘導するベース基地の役目を持たせ、お客様の利便性を向上させる予定です。

(業務態勢)

2名体制の交代勤務で、3名を雇用しました。

勤務時間は、午前9時から午後6時までで、年末年始を休みとしますが、今年には新幹線全線開業の年にあたるため、年末年始も開所の予定です。

【資料7】トイレ写真 【資料8・9】公園内トイレ位置

なお、21年度に事業を進めてきた、早掛沼公園並びに水源池公園のトイレ、各1棟の工事がこのほど完成し、昨日4月1日から供用を開始しております。

両トイレとも、昭和50年代に設置されたブロック造で、汲み取り式のため、臭気がきつく、不衛生との指摘もありましたことから、**経済危機対策関連予算**を活用し、改築したところです。

早掛沼公園、水源池公園ともに桜祭りの会場となっており、市民の皆様には、安心してご利用いただけるものと考えております。

早掛沼公園並びに水源池公園トイレ改築事業

施設の概要

男子用	大	2基	小	2基
女子用	大	2基		
多目的	大	1基		
延面積		28㎡		
工事費	2棟合計	71,242,500円		